



参加自由。学生・教職員ふるってご参加下さい。

## 学校・部活動における重大事件 ・事故から学ぶ研修会

【第1回】 2016年11月 7日(月)18時～20時30分 (世田谷・記念講堂)

【第2回】 12月12日(月)18時～20時30分 (世田谷・1201教室)

【第3回】 2017年 1月30日(月)18時～20時30分 (世田谷・記念講堂)



教員・指導者を目指す日体生の皆さんへ

南部さおり (スポーツ危機管理学・准教授)

皆さんが、子どもを教える仕事を志す理由は何でしょうか？ きっと、子どもの無限の可能性を拓け、未来に羽ばたいていくのを手助けしたいという、夢と希望を抱いていることと思います。そして、こうした「子どもの成長を手助けする仕事」を行うためには、何よりも「子どもの生命と身体を守る」ということが、子どもとの何よりも大切な約束事となります。

本来、学校は子どもたちにとって、安心して安全な学び舎でなければなりません。しかし残念ながら、これまで、学校現場でいくつもの重大な事件・事故が起こってきたということも紛れもない事実なのです。こうした悲劇を絶対にくり返さないためにも、私たちは、過去の事件・事故から真摯に学び、「どうすればこうした悲劇を起こさないか」「どうやって子どもの命を守れるのか」ということを真剣に考え続けていく必要があります。

この研修会では、学校事故対応分野の第一線で活躍する専門家や、実際の事件・事故に遭った当事者の方々をお招きし、学校での事件・事故の悲惨な状況につき、当事者にしか分からない「リアル」なお話を頂くことで、教員・指導者としての安全配慮や適切な指導方法を学び、児童・生徒に対する人権感覚を身に着けて頂きたいと願っています。

本企画に関する問い合わせは

スポーツ危機管理学・南部 (健志台キャンパス百149研究室) nambu3@nittai.ac.jp (045-479-7115)

【第1回】11月7日(月)

《第1部》「学校事故とは何か、どんな問題があるのか」

講師：住友剛（京都精華大学人文学部教授、体罰をみんなで考えるネットワーク代表、  
文部科学省「学校事故対応に関する調査研究」有識者会議委員）

《第2部》「学校部活動における体罰《しごき》の実態と危険性」

①「川西市立中学校熱中症死亡事件」

講師：宮脇勝哉（全国学校事故・事件を語る会 代表世話人／（元）公立学校教員）

②「大分県竹田高校剣道部熱中症・暴行致死事件」

講師：工藤奈美（剣太の会）

【第2回】12月12日(月)

部活動顧問の「無知」「軽率」「過誤」が奪った子どもたちの未来

～3つの重大事件から学ぶ～

①「横浜市立奈良中学柔道部傷害事件」

講師：小林恵子（全国柔道事故被害者の会事務局）

②「愛知県立高校野球部顧問によるパワハラ自殺事件」

講師：山田優美子（学校事故事件遺族連絡会呼びかけ人・指導死親の会メンバー）

③「専修大学附属高校バレ一部合宿中死亡事件」

講師：草野とも子（専修大学附属高校・体育安全対策委員会創設）

【第3回】1月30日(月)

《第1部》「いじめ」問題について共に考えよう

講師として、わが子のいじめ事件で学校を相手に戦った親を神戸からお招きします。

《第2部》「指導死」とは何か。子どもを追い詰めない「指導」のあり方を考える

①「埼玉県新座市立中 指導後の自殺事件」

講師：大貫隆志（「指導死」親の会代表世話人、NPO 法人ジェントルハートプロジェクト理事）

②「長崎市立中 指導中の自殺事件」

講師：安達和美（「指導死」親の会共同代表、「学校事故・事件を語る会 九州」呼びかけ人）